



ドリルウィンチ取扱説明書

品番: AP-680



目次

ユーザーガイド	1
警告	1
安全ガイドライン	2
ドリルウインチの概要	3
主要コンポーネント	3
クラッチ操作	4
牽引能力を理解する	4
連続運転使用時間	4
取扱説明書	5
1. はじめに	5
2. 使用前点検	6
3. ロープを巻き取る	6
4. アンカーポイントの固定	7
5. ウインチのセットアップ	7
6. ウインチの使用手順	8
7. 使用後の手順	9
8. ウインチ作業の注意点	9
9. 安全対策	10

必ずお守りください

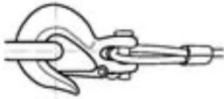
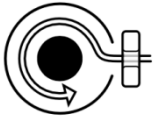
ユーザーガイド

本取扱説明書は、ドリルウインチの安全ガイドラインと操作方法を説明しています。
設置および使用の前に、安全で効果的な操作を行うため、すべての安全注意事項および手順を十分に読み理解してください。

警告

本取扱説明書全体を通して、警告の表示があります。
これらは、無視すると重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある危険を示しています。
安全な操作のために、すべての指示を正しく遵守してください。

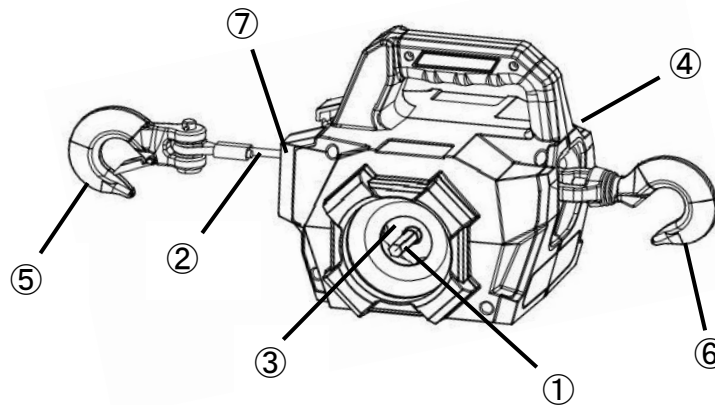
安全ガイドライン

	使用前に、安全ガイドラインを必ずお読みください。
	ホイストとして使用しないでください。
	フックに荷物が正しく固定されていることを確認してください。
	ロープが常にドラムの上部に巻かれるように使用してください。
	手を挟みこまないよう、十分注意してください。
	保護手袋は必ず着用してください。
	クラッチのロック、解除を適切に使用してください。
	人に対してウインチを使用しないでください。
	付属のフックストラップをご使用ください。

ドリルウインチの概要

ドリルウインチを使用する前に、その仕組みと主要部分の機能を理解することが重要です。

主要コンポーネント



- ① ドライバーシャフト(10mm) : ドリルの力をウインチ機構へ伝える部分。
- ② 合 成 ロ ー プ : 強度があり、長く使えるように設計されたロープ。
- ③ ギ ア ト レ イ ン : ドリルの力をウインチの巻き上げ力に変換する装置。
- ④ クラッチダイヤル : ドラムとギアシステムの接続をオン・オフできる調整部分。
- ⑤ ロ ー プ フ ッ ク : 荷物をしっかりと固定するためのフック。
- ⑥ アンカーフック : アンカーポイントに固定するためのフック。
- ⑦ フェアリード : ロープをドラムに均等に巻きつけるための補助部分。

クラッチ操作

クラッチダイヤルを操作すると、ウインチの操作を切り替えることができます。

作 動 (IN) :ドラムがギアに接続されることで、牽引に使用できます。

解 除 (OUT) :ドラムが自由に回転することで、素早くロープを引き出せます。

警 告 :ウインチに負荷がかかっているとき、ロープが張力を受けているとき、またはドラムが動いているときは、クラッチ操作を絶対に行わないでください。

警 告 :ウインチを操作する前に、必ずクラッチがロックされているか、または解除されていることを確認してください。

牽引能力を理解する

ドリルウインチは、その牽引能力に基づいて規格されています。最大トルクは、ドラム上にウインチロープが1層のみのときに発生します。層が増えるにつれ、ウインチの構造上の理由で引張力は減少します。

連続運転使用時間

オーバーヒートを防ぐため、ご使用のドリルドライバーまたはインパクトドライバーのメーカーが推奨する使用時間および冷却時間に従ってください。

取扱説明書

適切なウインチ技術を活用することで、安全性と作業効率を向上させることができます。本ガイドでは、基本的な手順を説明しますが、必ずご自身の作業環境を考慮し、適切に調整して使用してください。

1. はじめに

必要なもの(本体付属):

- ドリルウインチ
- ウインチロープ
- ロープフック
- アンカーフック
- 取扱い説明書

追加アクセサリ(別売):

- ドリルドライバーまたはインパクトドライバー
最小トルクが、4Nm 以上のドリルを使用してください。
※インパクトドライバーの場合、ドリルチャックが別途必要となる場合があります。
- 保護手袋
- 取必要に応じて、ロープなどの牽引補助具など

2. 使用前点検

開封開梱後、すべての部品に損傷がないか十分に点検してください。部品が欠けていたり、商品に欠陥がある場合は、直ちに購入元へ連絡してください。

警告 :ドリルチャックを使用する場合、脱落や怪我を防ぐために、チャックに正しく固定してください。

警告 :ドリルは必ずウインチ本体のドライバーシャフトにしっかり固定してください。ドリルが緩むと脱落し、重大な事故や深刻な怪我の原因となる恐れがあります。

警告 :コード付きドリルを使用する際は、電源コードがロープや移動する荷物、さらに作業者の足元に絡まないよう、適切な位置に配置してください。

3. ロープを巻き取る

ダイヤルを OUT の位置まで回してクラッチを解除してください。

※ロープを伸ばす際は、絡まないようにかかるテンションをかけながら作業してください。

単 独 作 業 :フックを荷物に取り付け、ウインチを後方へ動かしながらロープを伸ばしつつ巻き取ってください。

補 助 者 あり :もう 1 人の作業者がフックストラップを持ち、ウインチから離れながらロープを伸ばしつつ巻き取ってください。

警告 :手や指の怪我を防ぐため、ウインチロープの出し入れ、設置、操作時には、必ず付属のフックストラップを使用してください。

警告 :巻き取りや巻き戻しの牽引作業中は、ロープ、フック、フェアリード、開口部、ドラム本体に手を近づけないように注意してください。

警告 :ウインチ本体のロープが外れないように、ドラムには常に最低 5 巻以上のロープを確保してください。

4. アンカーポイントの固定

- 全荷重に対応できる安全なアンカーポイントを選んでください。
- 最大の牽引力を得るために、アンカーはできるだけ遠くに設置してください。アンカーが近すぎるとロープの角度が急になり、牽引力が弱まる場合があります。遠くに設置することでロープの張力を活かし、より強い牽引が可能になります。

警告 : ウインチのロープを丸太や木に直接巻き付けたり、ロープ同士を結ぶのは避けてください。摩擦や負荷で損傷しやすく、破断の恐れがあります。安全に使用するため、ストラップ等で適切に固定してください。

5. ウインチのセットアップ

- ウインチの位置を調整

ロープやウインチにダメージを与える横引きを避けるため、ウインチはできるだけまっすぐ配置してください。

- 荷物を固定

必要に応じてストラップなどを使用し、荷物が安定した状態を保てるようしっかり固定してください。

- ロープフックに接続

シャックルをロープフックに接続する際には締め過ぎないように注意してください。

- ロープを張る

クラッチを作動させ、ドリルを前進回転に設定し、ゆっくりとロープのたるみを取ってください。

- 安全確認

作業開始前に、すべての接続が安全に固定されていることを確認してください。

注意 : ロープの張り具合、シャックルの取り付け状態、荷物の固定を最終チェックすることで、作業中の事故やトラブルを防ぐことができます。

6. ウインチの使用手順

- ウインチダンパーをロープの上に置く

ロープが切れた場合の衝撃を吸収するため、ウインチダンパーをロープの中央付近に設置してください。

- 安全確認

作業前に周囲の安全を確認し、ウインチの進行方向に人がいないことを確認してください。

- ウインチ作業を開始

ドリルのトリガーを使い、一定の速度でゆっくりとウインチを作動させます。急激な力をかけるとロープや機械に負担がかかるため、慎重にコントロールしてください。

- ロープの整列を確認

ロープが均一にドラムに巻き付くように、張力を維持しながら慎重に作業を行ってください。

横方向への引っ張りが続くと、ロープが偏って巻き付く原因になり、故障の原因になりますのでご注意ください。

- ウインチ作業の完了

ロープフックがフェアリードから約 30cm の位置に近づいたら、ウインチを止めてください。最後の部分を巻き取る際は、ゆっくり操作しながら行ってください。

警告：ウインチの操作中に、張力がかかったロープやフックには触れないでください。
強い力が加わっているため、手を挟んだり怪我をする危険があります。

警告：荷重がかかった状態で、ウインチの動作を手動で調整したり、途中で介入しないでください。事故やウインチの故障につながります。

警告：横方向への引っ張りをつけないでください。ロープがウインチのドラムに偏って巻き付く原因となり、損傷や正常に動作しなくなる可能性があります。

7. 使用後の手順

- ドリルをウインチのドライバーシャフトから外す
作業が終了したら、ドリルをウインチのドライバーシャフトから慎重に取り外してください。
- ドリルウインチを清潔で湿気の少ない場所に保管
ウインチは水分や汚れに弱いため、使用後は泥やほこりを拭き取り、乾燥した場所に保管してください。
長期保管の場合は、防錆スプレーを使用するのも効果的です。
- ウインチロープの摩耗を点検し、損傷がある場合は交換
ロープが擦れたり、切れかかっているか確認し、傷んでいる場合は新しいものに交換してください。

8. ウインチ作業の注意点

- ロープが均等に巻き付くように調整する
偏った巻き方をすると、ロープ同士が絡まったり結束してしまい、正常に動作しなくなる可能性があります。常に均等に巻かれているか確認しながら作業してください。
- 横方向への引っ張りを避ける
横向きに力をかけると、ロープが偏って積み重なり、ウインチのドラム上で適切に巻き取られなくなります。
その結果、ロープがねじれて損傷したり、作業効率が悪くなるため、できるだけまっすぐに引くよう作業をしてください。
- ウインチを扱う際は必ず手袋を着用
ロープには摩耗によるささくれや汚れが付着していることがあり、素手で触るとケガをする可能性があります。
作業時は耐久性のある手袋を着用し、手を保護しながら作業をしてください。

9. 安全対策

- クラッチダイヤルの確認

ウインチを操作する前には、必ずクラッチが(IN)または(OUT)になっていることを確認してください。

中途半端な状態で動作させると、故障や事故の原因となります。

- 荷重の上限を超えないようにする

ウインチの最大牽引能力を超えないよう注意してください。

負荷が大きすぎると、ウインチが損傷する恐れがあります。

- 定期的に点検し、必要に応じてメンテナンスを行う

使用後はロープやウインチの摩耗状況をチェックし、異常があればメンテナンスを行ってください。